

Take your trash home with the number 1.  
**ROO Garbage**  
 ゴミは思い出と共に持ち帰ろう



フィリピン、マニラ首都圏の中心を流れるパシグ川。住宅不足と貧困のため、川岸に小屋を建てて暮らす人々。工場排水や生活排水が垂れ流され、ゴミも大量に投棄されていました。そのため、かつては「青い水」と呼ばれていたその川は汚染が進み、「生物の生存は不可能」という最悪のレベルまで落ちてしまいました。

97年、パシグ市の地区長となったサンティエゴ氏と妻のエディサは、ゴミの減量と川岸の緑化に取り組む女性のボランティア団体「KILUS FOUNDATION」をつくりました。「KILUS FOUNDATION」の名前は、タガログ語で「Kababaihan=愛国心」「lisa=一人一人」「Layunin=目的」「Umunland=発展」「Sambayanan=故郷」の頭文字をとってつけられています。

「世界一美しく緑あふれる街にしよう」を合言葉に、さまざまな運動を行いました。そしてボランティアだけでなく貧しい人々の収入源にと考えたのが、リサイクル製品の製造です。飲み終えたジュースのアルミパックを集め、洗い、縫い合わせてバッグやサンダルを作りました。この活動のおかげで、多くの貧しい人々が収入を得られるようになりました。

KILUS Foundationでは子どもたちに教育を受けさせることの大切さを教えています。フィリピンではまだまだ自分の子どもを学校へ行かせず、働かせてしまう親が多いのが現状ですが、子どもたちの未来のために、そして国の未来のために、教育が絶対に必要であることを訴えています。これまで学校へ通えなかったたくさん子どもたちが学校へ通えるようになってきました。

現在、Kilus Foundationは、フィリピンの他の街の人々や他の島の人々にも、この活動とリサイクルグッズ製造の技術を伝授しています。



COCO&K. (ココアンドケー) は、フィリピンの環境問題に取り組む NGO 団体「Kilus Foundation」(キルスファンデーション)の活動によって生まれた、アップサイクル&フェアトレードブランド。

Take your trash home with the number 1.  
**ROO Garbage**  
 ゴミは思い出と共に持ち帰ろう



フィリピン、マニラ首都圏の中心を流れるパシグ川。住宅不足と貧困のため、川岸に小屋を建てて暮らす人々。工場排水や生活排水が垂れ流され、ゴミも大量に投棄されていました。そのため、かつては「青い水」と呼ばれていたその川は汚染が進み、「生物の生存は不可能」という最悪のレベルまで落ちてしまいました。

97年、パシグ市の地区長となったサンティエゴ氏と妻のエディサは、ゴミの減量と川岸の緑化に取り組む女性のボランティア団体「KILUS FOUNDATION」をつくりました。「KILUS FOUNDATION」の名前は、タガログ語で「Kababaihan=愛国心」「lisa=一人一人」「Layunin=目的」「Umunland=発展」「Sambayanan=故郷」の頭文字をとってつけられています。

「世界一美しく緑あふれる街にしよう」を合言葉に、さまざまな運動を行いました。そしてボランティアだけでなく貧しい人々の収入源にと考えたのが、リサイクル製品の製造です。飲み終えたジュースのアルミパックを集め、洗い、縫い合わせてバッグやサンダルを作りました。この活動のおかげで、多くの貧しい人々が収入を得られるようになりました。

KILUS Foundationでは子どもたちに教育を受けさせることの大切さを教えています。フィリピンではまだまだ自分の子どもを学校へ行かせず、働かせてしまう親が多いのが現状ですが、子どもたちの未来のために、そして国の未来のために、教育が絶対に必要であることを訴えています。これまで学校へ通えなかったたくさん子どもたちが学校へ通えるようになってきました。

現在、Kilus Foundationは、フィリピンの他の街の人々や他の島の人々にも、この活動とリサイクルグッズ製造の技術を伝授しています。



COCO&K. (ココアンドケー) は、フィリピンの環境問題に取り組む NGO 団体「Kilus Foundation」(キルスファンデーション)の活動によって生まれた、アップサイクル&フェアトレードブランド。